

あなたも香川県教職員組合へ  
憲法が生きる平和で安心な学校を

「無理ばっかり言うな！ 教師だって人間や」そう叫びたい日は、我慢せずに叫べばいいと思うのです。教師はスーパーマンではありません。子どもたちの複雑に入り組んだ関係を一々解決してほしいと迫られても、できないものはできないのです。できない自分を責めるから心が壊れるのです。

「子どもたちに夢を語れる教師でありたい」「子どもたちにゆっくりと教えたい」私たちは、長い教師生活の中で恋愛もし、結婚もし、自分の子どもも育てるのです。

教師も、家に帰ればお父さんやお母さんです。自分の子どもが病気になって泣く日もあるし、自転車に乗っていてけがをする日もあります。そして、自分の子どももまた、学校の中できんかをする日もあります。

学校はみんなでつくるところ、みんなで育てていくところと、私たちちは育てています。

でも学校は多忙で、自分の子どもは後まわし、同僚とはゆっくりと話し合うゆとりもありません。その上相次ぐ億金カットでいくらがんばっても給料まゝがらず、私たちの生活もまた大変です

香川県教職員組合（香教組）は、1947年の結成以来一貫して教職員の生活と権利を守り、平和と民主主義を發展させることに運動を続けてきました。

私たち一人ひとりの力は小さいですが、みんなで力を合わせると大きな力になります。ぜひあなたもわたしと一緒に力を合わせて、この社会への貢献を一緒に進めていきましょう。

たちと力を合わせましょう。あなたの香教組への加入をお待ちしています。



↑ 毎年行われる  
「ひまわり学校」



賃金カットの見直しを  
求めて県と交渉→



## 教育全国署名集約集会 すべての子どもたちに よい教育環境を ←少人数学級実現へ



←貧困ネットワーク

香教組  
加入促進  
特集号

# 香教組はこんな活動をしています

香川県教職員組合（香教組）は、全日本教職員組合（全教）に結集する教職員組合で、香川では香川県高等学校教職員組合（香川高教組）、香川県私立学校教職員組合連合（香川私教連）と力を合わせて活動しています。

教育という仕事は、みんなで支え合い、助け合うものです。みんなで力を合わせて、子どもたちを一人ひとりを大切にする学校と社会をつくりましょう。



↑ 幼・小・中・高・大の教師が集う  
第8回「香川県教育研究集会」

全教共濟つて何?

全教共済は、香川県教職員組合が所属している全日本教職員組合が運営している助け合いの保険だ▼みなさんの中には高いお金を払つて一般の保険に入られている人もいると思うが、全教共済は、先生なら誰でも入れる助け合いの保険である▼病気になつたときの医療共済、けがをしたときの傷害共済、一般の生命保険と同じような生命共済など様々な共済がある▼学校現場で親から訴えられたときに使える教職員賠償共済もその一つだ▼春は保険会社の人たちがたくさん学校にやってきて新しい保険の勧誘をするが、みなさんはすでに教職員だから、この共済に入るところがでくる▼しかも全国の数十万人も

の先生方が掛け金を出しているのでとても安い掛け金で困ったときに手厚い保障になる▼そういう私も、一年ほど前に自転車通勤をしていて転んで足の骨にひびが入ってしまい、しばらく病院に通院したが通院で支払った金額がほとんど返ってきた▼共済は一般の保険ほどなぜ高くないのか？答えは簡単、テレビなどのCMや広告代がかからないし勧誘で回る人もいない▼一般の企業のように利益を出す必要がないのだからそれが掛け金の補助に回りました安くなる▼もともとこの制度はイギリスの労働者の間で病気になつた仲間を見舞うために、みんなから集めた一杯ずつの酒代を寄付したところから始まつたそうである。

# 2013年度も香教組の活動に ご協力いただきありがとうございました

## 2013年度の運動の成果

- 小学校4年生までの35人以下学級の実現
- 寄宿舎指導員採用選考試験を2012年度に引き続いて実施、2名採用。
- 2014年度から県独自カット、賃金カットを全面解除。3%の地域給を全県に1%で支給。
- 教員採用数が増加。2014年度4月採用で、小学校154名、中学校88名、特別支援小・中16名、養教18名、栄養1名が合格  
2月の追加合格者 小7名、中2名



県教委へ教育署名11853筆を提出

## 子どもたちと教職員のために

香教組は、香川高教組、香川私教連、市民団体等とともに少人数学級の実現や高校授業料の無償化、給付型奨学金等の実現のために教育署名を集め香川県教委に提出しました。=2014.2.6 香川県教委



県教委へ香教組署名1668筆を提出

## 2013年度の香教組署名 (賃金改善・多忙化解消の要求署名)

- 1 地方公務員の給与カットをやめて、教員として安心して過ごせる給与を保障してください。
- 2 30人以下の学級を早期に実現してください。当面小・中全ての学年で35人以下の学級を実現してください。
- 3 長時間勤務・多忙化を解消し、職場環境を整えてください。
- 4 臨時教職員の待遇改善をすすめるとともに講師経験を考慮した採用制度にしてください。

## 教育に臨時はない！臨時教職員のみなさんも香教組へ

学校現場では「講師」という不安定な身分のままで、多くの臨時教職員が働いています。正規の教員と同じ仕事をしても賃金が低く、諸権利も不十分です。

香教組は、「教育に臨時はない」を合い言葉に正規採用者の大幅増、賃金の引き上げ、勤務条件の改善、採用試験の改善などを求めて運動をすすめています。

## 2013年度の運動の成果

- 臨時教職員の3月の社会保険と年金が継続に。（2014年度も4月1日から任用の場合は、社会保険を継続できる）

## 第1回 パワーアップ学習会

日 時 2014年4月29日（火）祝日

9:30～12:00

場 所 サンメッセ 中会議室

内 容 1次試験突破のために

（集団面接講座あり）

## 採用試験勉強会サークル

現在、採用試験勉強会サークルを県内4カ所で行っています。是非ご参加ください。

高松（香教組会館＝高松市田村町）4/1、4/15、5/13

三豊（三豊教育会館＝観音寺自動車学校前）4/7、4/21

丸亀（丸亀生涯学習センター5F）4/9、4/23

大川（津田教育会館＝津田小学校踏切南）4/2、4/16

資料代  
300円